

ペテロの立ち直り

ヨハネ21:14~17



豪語ともいえるペテロの決意

マタイ26:33 すると、ペテロがイエスに答えて言った。「たとい全部の者があなたのゆえにつまずいても、私は決してつまずきません。」

ヨハネ13:37-38 ペテロはイエスに言った。「…あなたのためにはいのちも捨てます。」イエスは答えられた。「わたしのためにはいのちも捨てる、と言うのですか。まことに、まことに、あなたに告げます。鶏が鳴くまでに、あなたは三度わたしを知らないと言います。」

不完全な人の決意と イエスさまの執り成し

ルカ22:31-32 シモン、シモン。見なさい。サタンが、あなたがたを麦のようにふるいにかけることを願って聞き届けられました。しかし、わたしは、あなたの信仰がなくならないように、あなたのために祈りました。だからあなたは、立ち直ったら、兄弟たちを力づけてやりなさい。」

三度、主を否んだペテロ

ルカ22:54~62 彼らはイエスを捕え、引いて行って、大祭司の家に連れて来た。ペテロは、遠く離れてついて行った。…女中が、火あかりの中にペテロのすわっているのを見つけ、まじまじと見て言った。「この人も、イエスといっしょにいました。」…ペテロはそれを打ち消して、「いいえ、私はあの人を知りません。」と言った。…ほかの男が彼を見て、「あなたも、彼らの仲間だ。」と言った。しかし、ペテロは、「いや、違います。」と言った。…一時間ほどたつと、また別の男が、「確かにこの人も彼といっしょだった。この人もガリラヤ人だから。」と言い張った。…ペテロは、「あなたの言うことは私にはわかりません。」と言った。それといっしょに、彼がまだ言い終えないうちに、鶏が鳴いた。主が振り向いてペテロを見つめられた。ペテロは、「きょう、鶏が鳴くまでに、あなたは、三度わたしを知らないと言う。」と言われた主のおことばを思い出した。彼は、外に出て、激しく泣いた。

21:14 イエスが、死人の中からよみがえってから、弟子たちにご自分を現わされたのは、すでにこれで三度目である。

21:15 彼らが食事を済ませたとき、イエスはシモン・ペテロに言われた。「ヨハネの子シモン。あなたは、この人たち以上に、わたしを愛しますか。」ペテロはイエスに言った。「はい。主よ。私があなたを愛することは、あなたがご存じです。」イエスは彼に言われた。「わたしの小羊を飼いなさい。」

21:16 イエスは再び彼に言われた。「ヨハネの子シモン。あなたはわたしを愛しますか。」ペテロはイエスに言った。「はい。主よ。私があなたを愛することは、あなたがご存じです。」イエスは彼に言われた。「わたしの羊を牧しなさい。」

21:17 イエスは三度ペテロに言われた。「ヨハネの子シモン。あなたはわたしを愛しますか。」ペテロは、イエスが三度「あなたはわたしを愛しますか。」と言われたので、心を痛めてイエスに言った。「主よ。あなたはいつさいのことをご存じです。あなたは、私があなたを愛することを知っておいでになります。」イエスは彼に言われた。「わたしの羊を飼いなさい。」

三度「わたしを愛しますか」

ヨハネ21:17 イエスは三度ペテロに言われた。「ヨハネの子シモン。あなたはわたしを愛しますか。」ペテロは、イエスが三度「あなたはわたしを愛しますか。」と言われたので、心を痛めてイエスに言った。「主よ。あなたはいっさいのことをご存じです。あなたは、私があなたを愛することを知っておいでになります。」イエスは彼に言われた。「わたしの羊を飼いなさい。」

神の前でだれも誇らせない

1 コリント1:26～29 兄弟たち、あなたがたの召しのことを考えてごらんなさい。この世の知者は多くはなく、権力者も多くはなく、身分の高い者も多くはありません。しかし神は、知恵ある者をはずかしめるために、この世の愚かな者を選び、強い者をはずかしめるために、この世の弱い者を選ばれたのです。また、この世の取るに足りない者や見下されている者を、神は選ばれました。すなわち、有るものがない者のようにするため、無に等しいものを選ばれたのです。これは、神の御前でだれをも誇らせないためです。

信仰がなくならないために

ローマ10:17 …信仰は聞くことから始まり、聞くことは、キリストについてのみことばによるのです。

神のわざをおこなうために

ヨハネ6:28-29 すると彼らはイエスに言った。「私たちは、神のわざを行なうために、何をすべきでしょうか。」イエスは答えて言われた。「あなたがたが、神が遣わした者を信じること、それが神のわざです。」

みことばを聞いて、聞いて 思い巡らし、信仰によって 結び付ける

ヘブル4:2 福音を説き聞かされていることは、私たちも彼らと同じなのです。ところが、その聞いたみことばも、彼らには益になりませんでした。みことばが、それを聞いた人たちに、信仰によって、結びつけられなかったからです。

信仰と愛の関係

キリストにある者は、神に対しても人に対してもキリストの愛を示す新しい生活に入れられるのであるが、特にパウロが愛を尊び(1 コリント13:2)、愛を最高のものとし(13:13)、愛を追い求めるように(14:1)と勧めていることに注目する時、一つの大切な点に気付く。

それは、信仰と愛との密接性・連続性である。パウロがアガペーを人に対するクリスチャンの愛の意味で用い、神に対する愛の意味ではほとんど用いていないということに、アウグスティヌスは驚きをもって気付いていたと言われる。

なぜアガペーが神に対する愛の表現としてパウロによって用いられなかったのか、という問題の答として、スネイスは、「人間の神に対する愛は、神からの愛と同じでは有り得ず、神の愛に対する応答に過ぎないからアガペーを用いなかった」というニグレンの言葉を引用し、さらにアガペーに代る言葉としてパウロがピステューオー／ピスティス(信じる・信仰)を用いていると説明する。(新キリスト教辞典)

